

## JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-175)

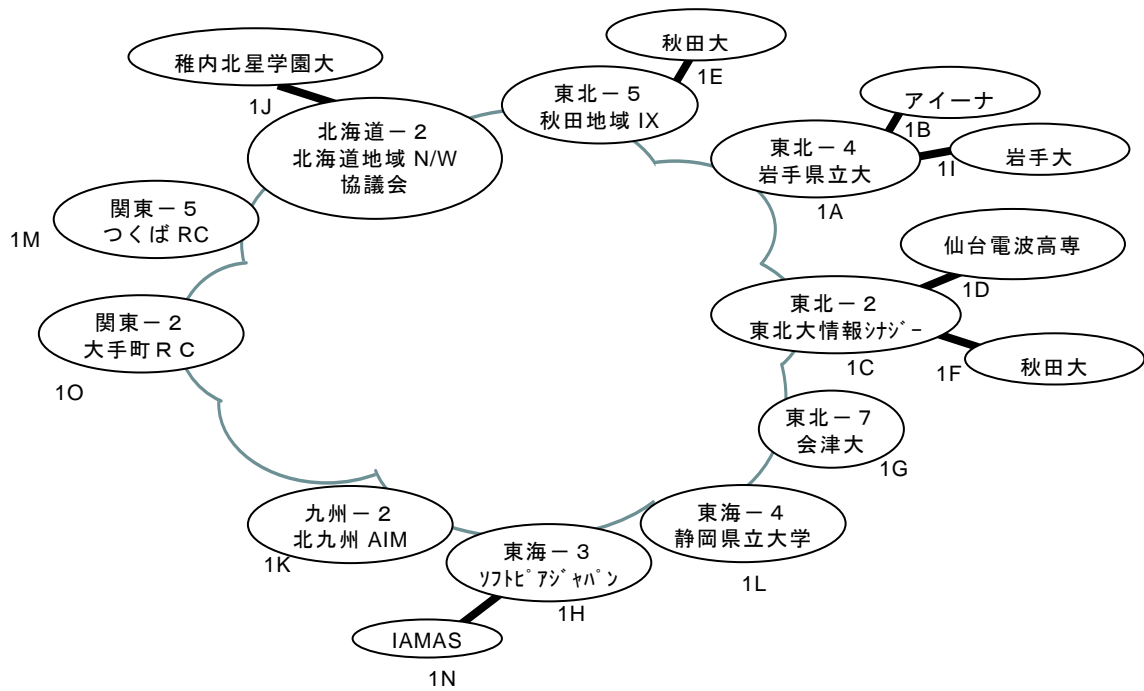
提出日 2006 年 月 日

<p>(1)イベント名 第 8 回 JGN2 ワークショップ (東北リサーチセンター)</p>
<p>(2)イベント概要 目的： 独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 主催により、「JGN2 ワークショップ」を岩手で開催するもので、日頃 JGN2 を活用している研究者から、現在取り組んでいる研究内容、研究経過等を JGN2 を利用して広くその成果を発表することを目的とする。</p> <p>内容： 1. 基調講演 2 件 2. 研究発表 セッション数 2 3. 発表論文数：高精細映像伝送ミドルウェアシステム：4件 高臨場感通信システム： 4件</p> <p>利用方法： 発表会場 (岩手県盛岡市いわて県民情報交流センター) から足回り回線経由で、DVTS により映像配信し、岩手県立大学地域連携センター (東北-4) を経由して、JGN2 を通り、映像受信を希望する JGN2 拠点に配信する。</p>
<p>(3)JGN2 利用の概要 本番利用期間 平成 18 年 10 月 27 日 IPv4 ユニキャスト配信 (DVTS/DV)を行った。 JGN2v6 を利用した IPv6 マルチキャスト配信を行った。 また Windows Media Server, Helix Server を利用してインターネットを通して本イベントを視聴可能にした。</p>
<p>(4)イベント参加人数 当日会場出席者 100 名 遠隔 (17 箇所) より聴講参加数 多数</p>
<p>(5)実施評価等 ・シンポジウムの意義について： 本シンポジウムにおいては、高精細映像伝送ミドルウェアシステムや高臨場感通信システムに関する最先端の研究発表が行われた。また米イリノイ大学から JGN2 によって映像を中継した遠隔講演も行われた。この結果、JGN2 を用いて、ブロードバンドネットワークアプリケーションとミドルウェアの研究が大きく進展していることを広く内外にアピールすることができた。</p> <p>・映像配信について： 映像ソースは HDV カメラを用いた高品質な映像を利用し、JGN を通じて直接 Ruff (HDV 伝送用アプリケーション) による配信をおこなった。高精細な映像を受信地に配信することにより、臨場感溢れる映像伝送を実現した。また、HDV に対応した受信ソフトを持たない拠点に関しては DV による映像伝送をおこなった。</p> <p>・若手技術者育成に関する評価： 本イベントに関わった若手技術者 (学生) も多く、配信ネットワークの設計、機器の設定、受信拠点とのコミュニケーションなど、映像中継に必要な技術に参加者の多くが習得した。また、ネットワーク計測を研究テーマとしている学生によって作成されたツールの動作実験も行われ、有意義な計測結果を得ることができた。</p>

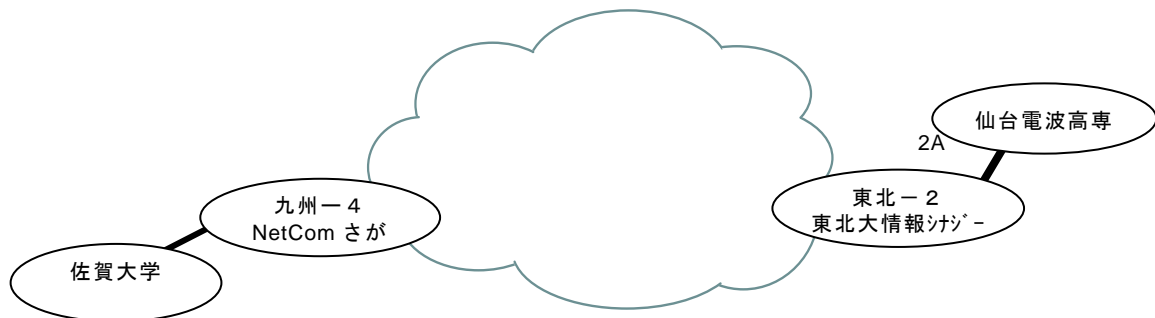
(6)トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア.接続概念図 (主要サイト)

【接続 1】



【接続 2】



イ. 配信リスト (配信元含む)

北海道-2	稚内北星学園大学	関東-1	NTT 横須賀 R&D
東北-2	仙台電波高専	関東-1	NTT 大手町
東北-2	東北大情報シヅ-センター	関東-2	NICT 大手町 RC
東北-3	八戸工業大学	関東-5	NICT つくば RC
東北-4	岩手県立大アイーナ	東海-3	IAMAS
東北-4	岩手大学	東海-3	ソフトピアジャパン
東北-5	秋田大学	東海-4	静岡県立大学
東北-7	会津大学	九州-2	NICT 九州 RC
		九州-4	佐賀大学